

An aerial photograph of a city, likely Kawasaki, with a 3D map overlay. The map shows various colored zones: green for parks or green spaces, purple for urban areas, and blue for water bodies. The text is overlaid on the top half of the image.

川崎エコタウンから より良いエコタウンを探る

慶應義塾大学経済学部

山口光恒研究会

阿部元久 有野洋輔 小保方麻貴

加藤壮 橋詰直武

廃棄物問題

家電リサイクル班

自動車リサイクル班

エコタウン班

容器リサイクル班

地球温暖化

ポスト京都班

CDM班

水資源班

新エネルギー班

発表の流れ

- 1．エコタウンとは？
- 2．現在のエコタウンの状況
～エコタウン事業の事業者アンケートより～
- 3．川崎エコタウンフィールドワーク
から分かったこと
- 4．入口出口問題解決のために

エコタウンとは？

ECO
TOWN

～ 事業の概要 ～

「ゼロ・エミッション構想」を基に、

資源循環型経済社会の構築を目的とし、

地域の産業を活かした環境産業の振興を通じた
地域振興と、

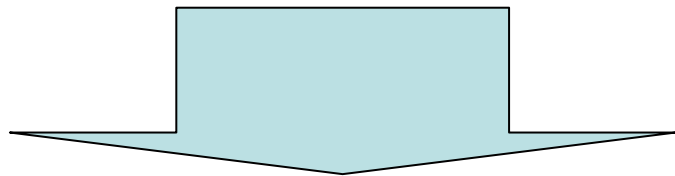
廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進
に取り組む事業。

CO
TOWN

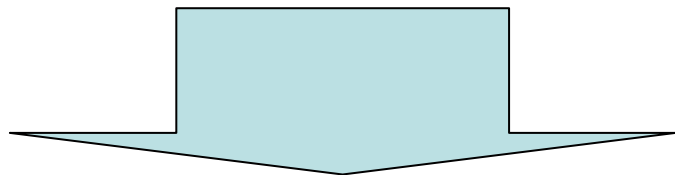
どうしたら、

エコタウンになれるの？

- 「エコタウンプラン」
(環境と調和したまちづくり計画) を作成



経済産業省及び環境省からの共同承認



ソフト面への補助金

ハード面への補助金

ハード補助金とソフト補助金

- ハード補助金

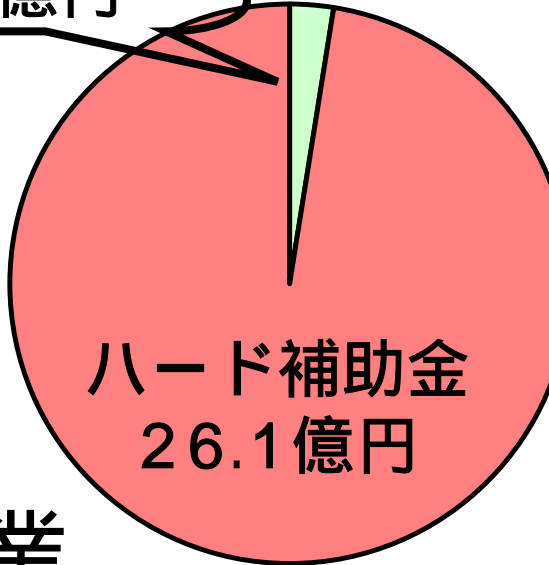
先駆的リサイクル施設推進

- ソフト補助金

環境産業マーケティング事業

住民への情報提供etc

ソフト補助金
0.7億円

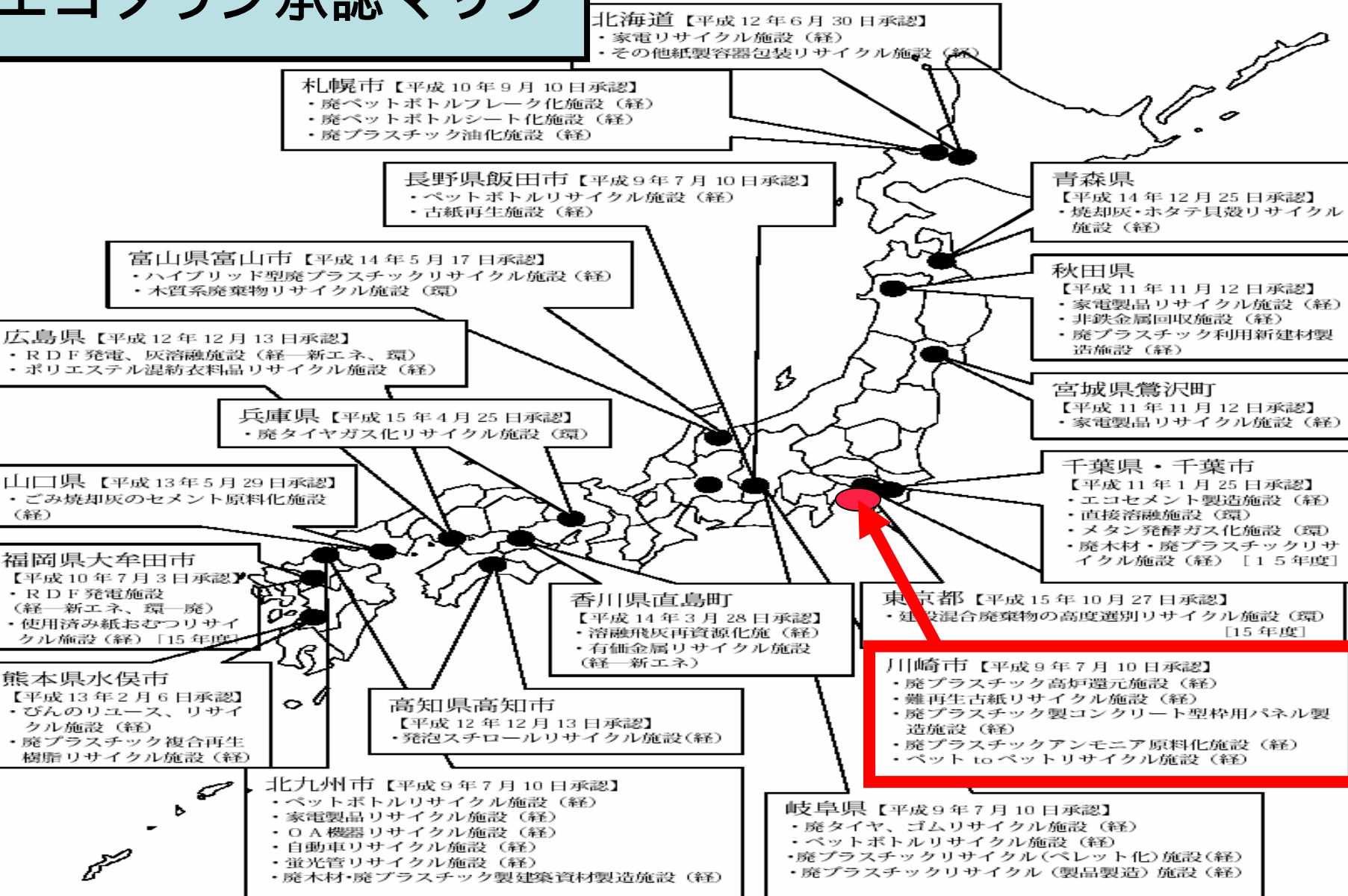


平成15年度予算

エコタウン承認マップ

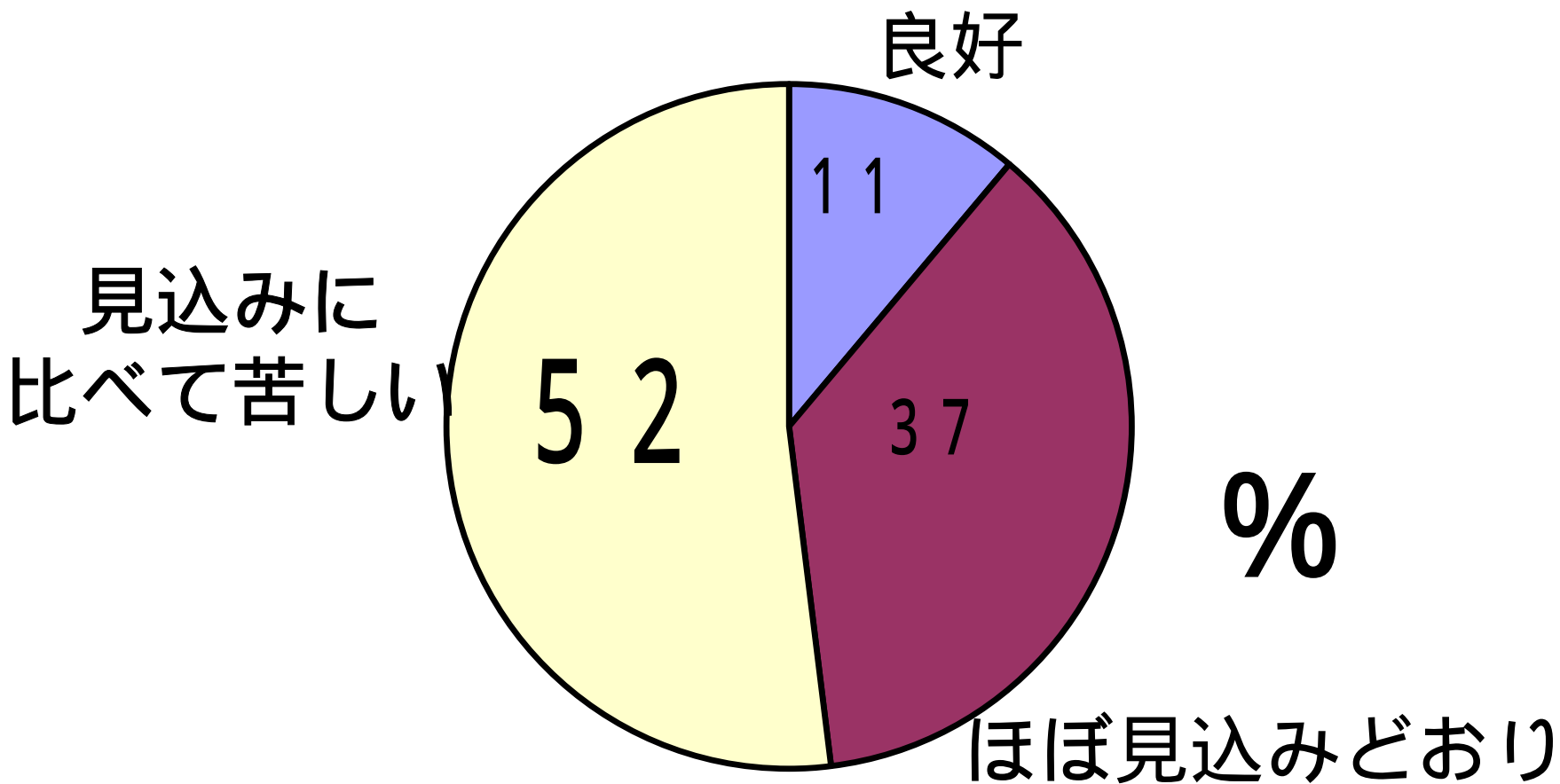
平成15年11月現在19地域

地域



※ 経…経済産業省エコタウン補助金
経-新エネ…経済産業省新エネ補助金

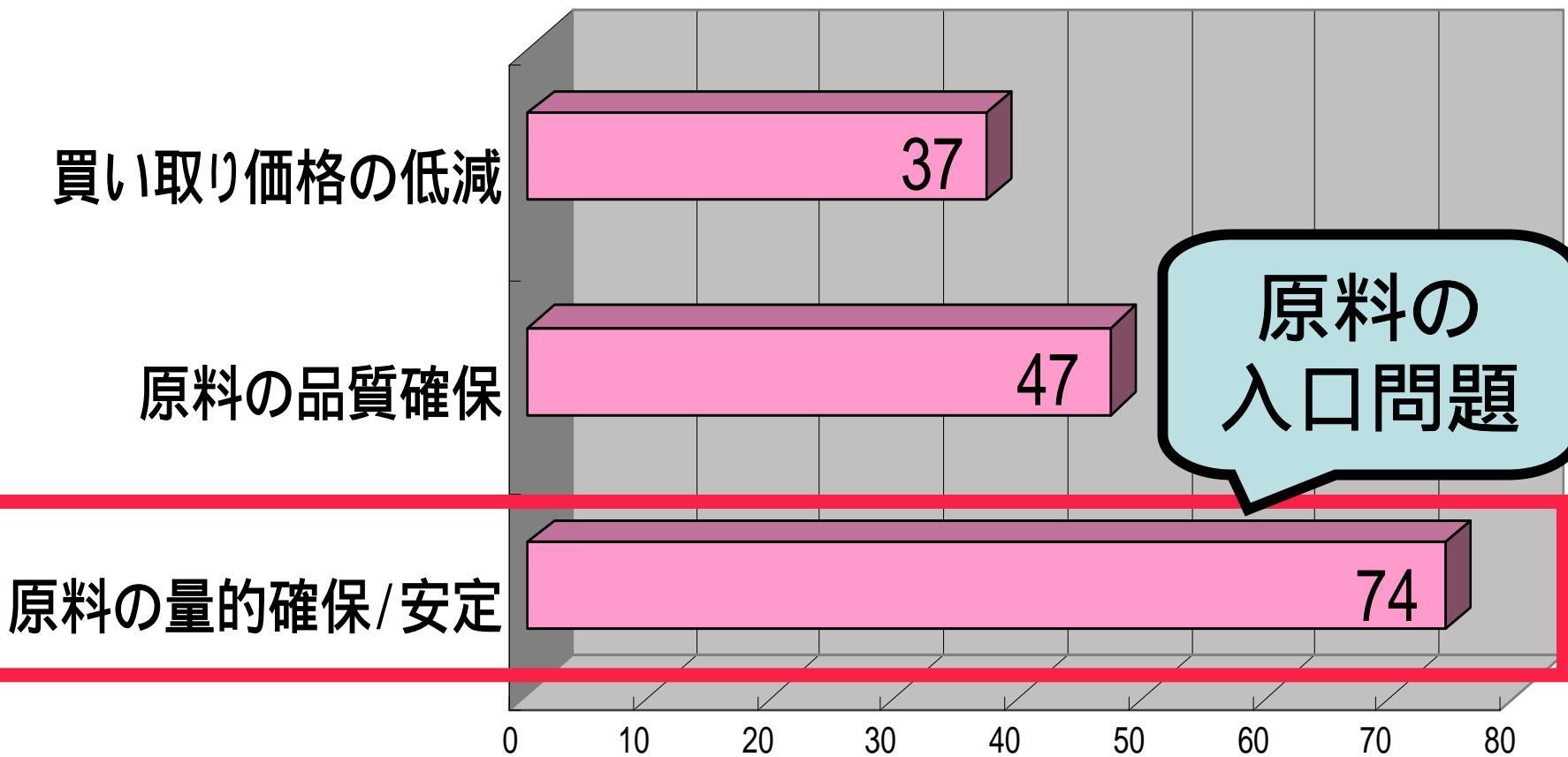
現在のエコタウンの状況 ～事業採算性の観点から～



現在のエコタウンの状況

～原料供給・確保面での課題～

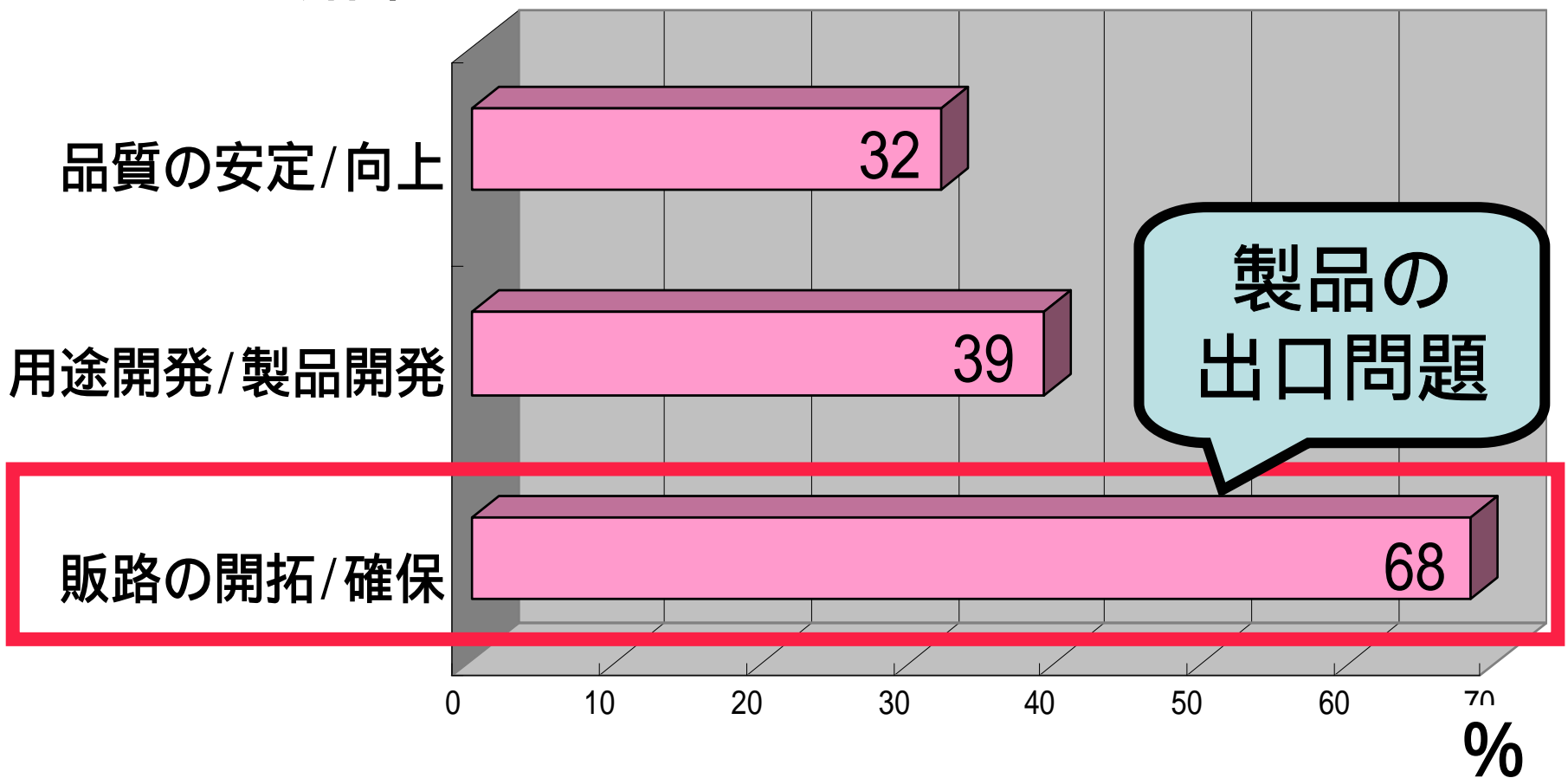
アンケート結果より・・・



現在のエコタウンの状況

～リサイクル製品の販売面での課題～

アンケート結果より・・・



以上からわかること。

事業者の問題意識が、

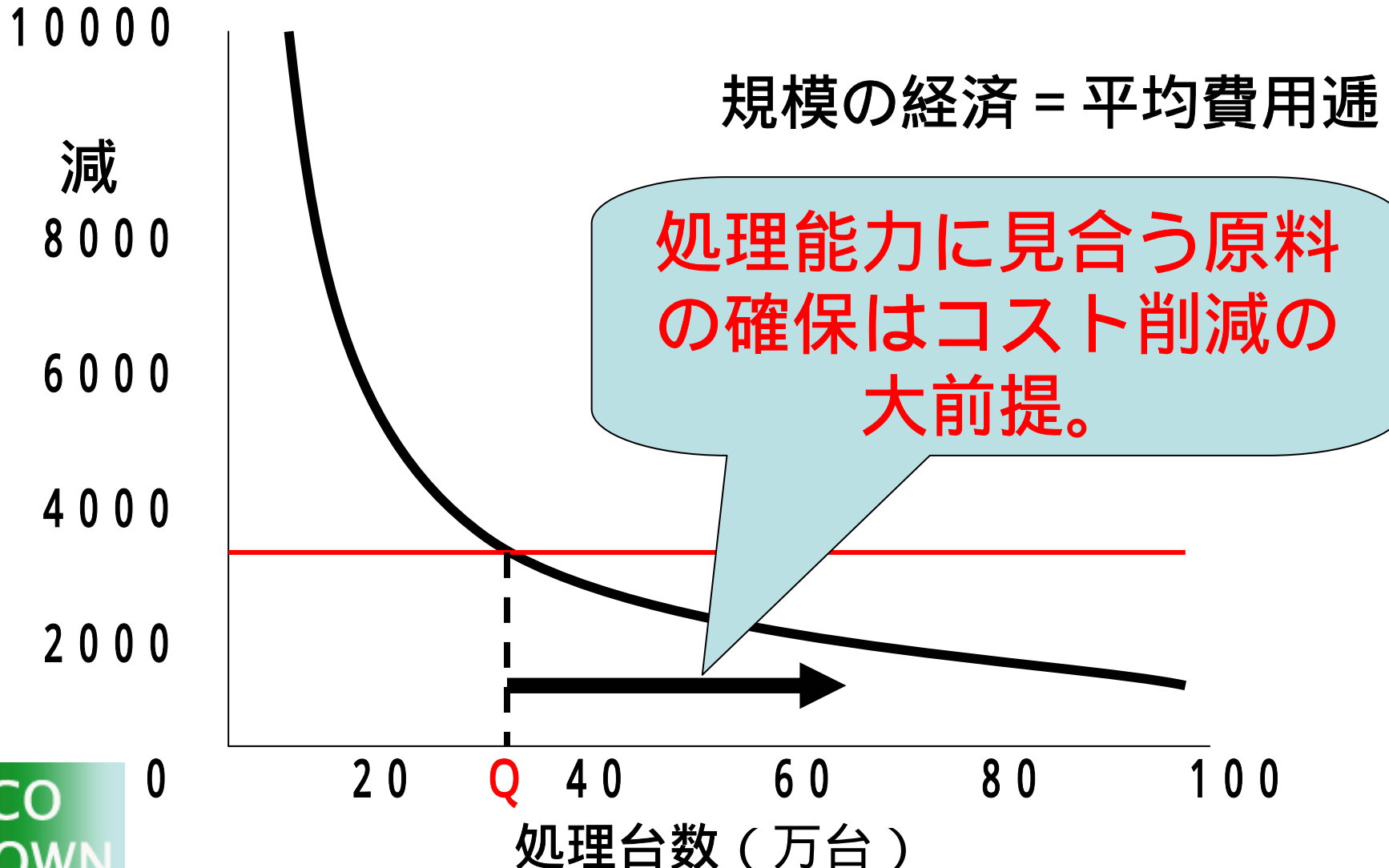
原料の安定供給・確保（**入口**）
と

リサイクル製品の販路開拓・確保（**出口**）

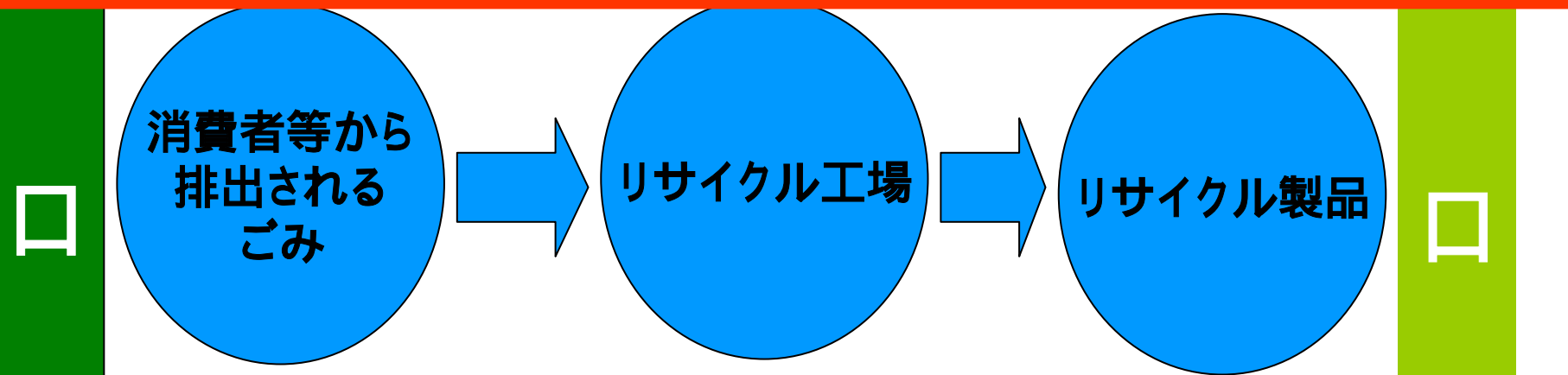
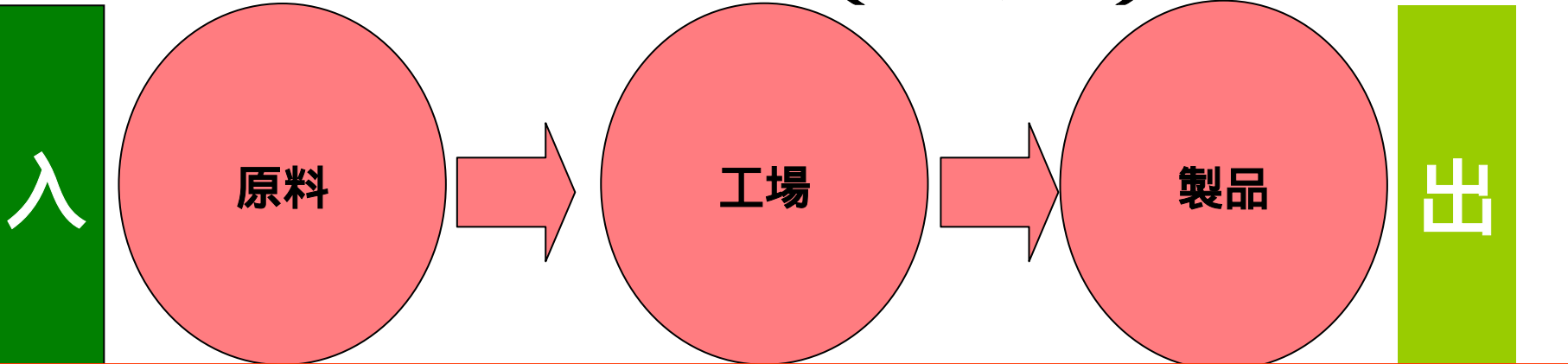
に集中している。

入口の重要性

平均費用 (円 / 処理台数) : 一台あたりコスト



普通の産業の流れ（動脈）



リサイクル産業の流れ（静脈）

これから、
このリサイクル産業における
入口出口問題について、

私たちがフィールドワークをした
川崎エコタウンに焦点を当てて、
考えてみよう。

川崎エコタウンとは

まずは、川崎市の場所から



川崎エコタウンの場所

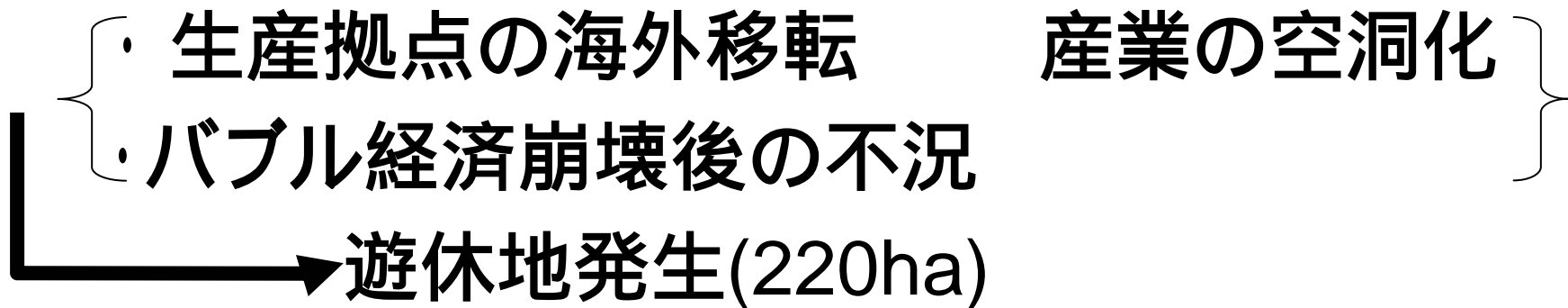
ECO
TOWN



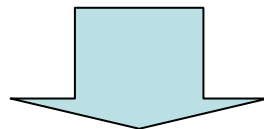
- 既成市街地
- 臨海部第1層
- 臨海部第2層
- 臨海部第3層

CO
TOWN

川崎エコタウン形成の背景



公害の克服、環境意識の高まり



川崎新時代2010プラン

産業再生・雇用創出・環境調和

エコタウン事業

川崎エコタウンにおける リサイクル事業3社の 入口出口の比較

J F E

昭和電工

コアレックス

入口の比較

	JFE	昭和電工	CORELEX
	廃プラスチック 高炉原料化事業	廃プラスチック ガス化溶融アンモニア 原料化事業	難再生古紙リサイクル 施設整備事業
処理能力	50000トン / 年	64000トン / 年	73800トン / 年
受け入れ量	フル	フル	フル
原料	その他プラ	その他プラ	難再生古紙
供給の安定性			
原料供給源	容リ協会	容リ協会 + 近隣 メーカーの産廃	川崎市を中心に関東 全域
有償or逆有償	逆有償	逆有償	逆有償

川崎にみられる人口問題解決手段

必要とする廃棄物原料の・・・

✓ リサイクル法が存在していること

資源有効利用促進法、容器リサイクル法、
家電リサイクル法の存在

✓ 新たなリサイクル技術の利用

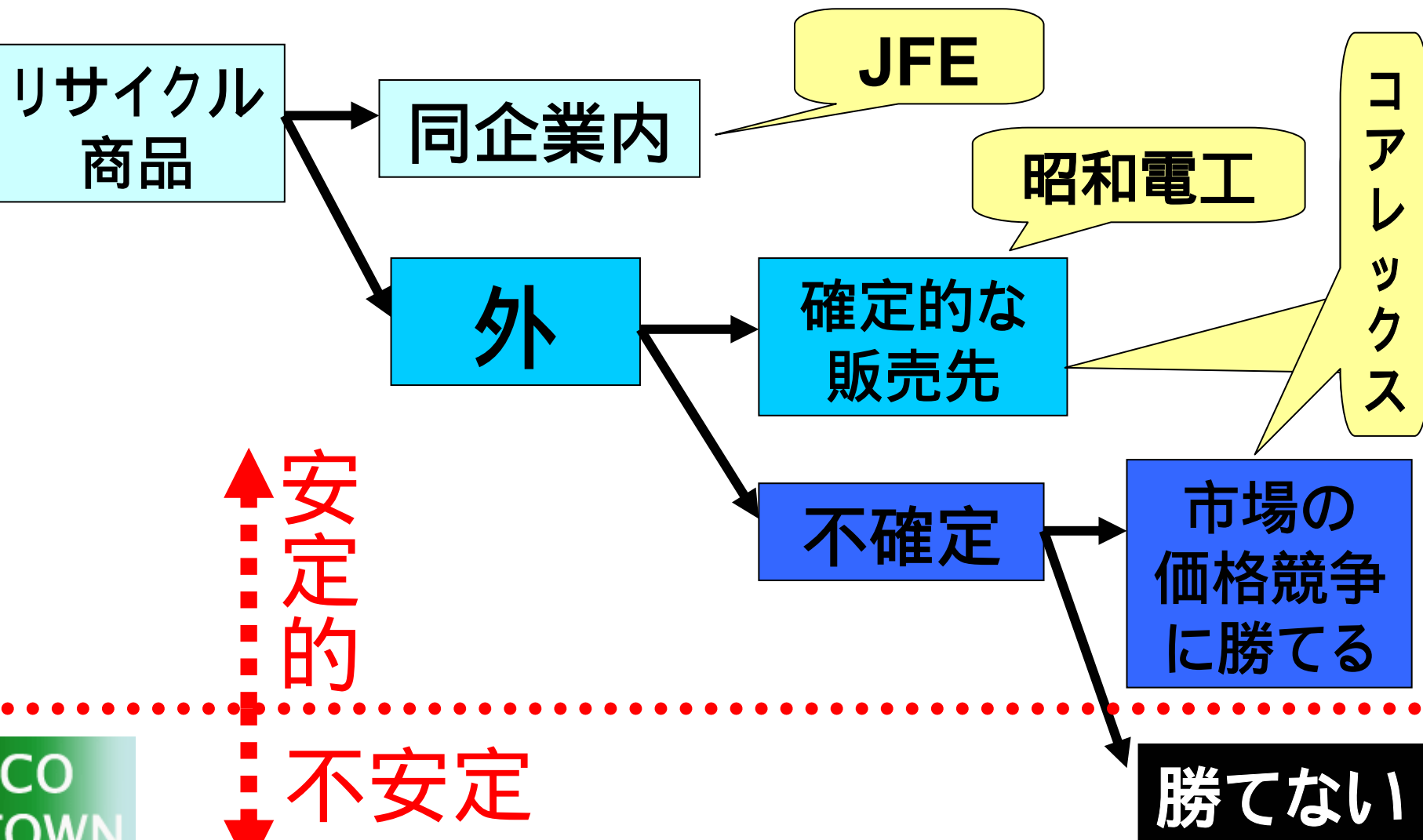
✓ 大量廃棄地に存在すること

資源ごみの輸送コストの最小化

出口の比較

	JFE	昭和電工	CORELEX
	廃プラスチック 高炉原料化事業	廃プラスチック ガス化溶融 アンモニア原料化事業	難再生古紙リサイクル 施設整備事業
製造量	19425トン/年 (2002年)	58000トン/年 (アンモニア)(予定量)	51300トン/年 (予定量)
受け入れ先の 安定性			
製品受け入れ先	隣接する同企 業内の高炉	繊維・肥料メーカー・ 発電所等	JR、病院(心無し) 一般(芯あり)
他競争製品の 値段との比較	競争なし	関東唯一のアンモ ニア事業	安い

出口の樹形図

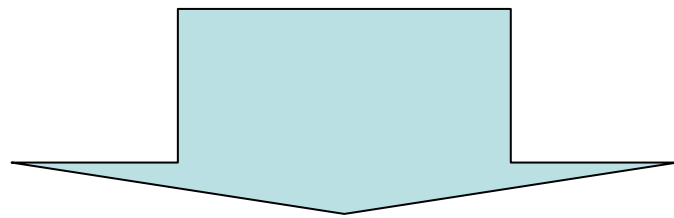


川崎にみられる出口問題の克服手段

- 製品の受け入れ先が同企業内（JFE）
- 確定的な販売先が存在すること（昭和電工）
- 特定の顧客を対象にした製品であること
- バージン原料で作った他の製品との価格競争に耐えられること（コアレックス）

入口出口問題の
更なる解決のヒントとして
～ 視点を変えてみる～

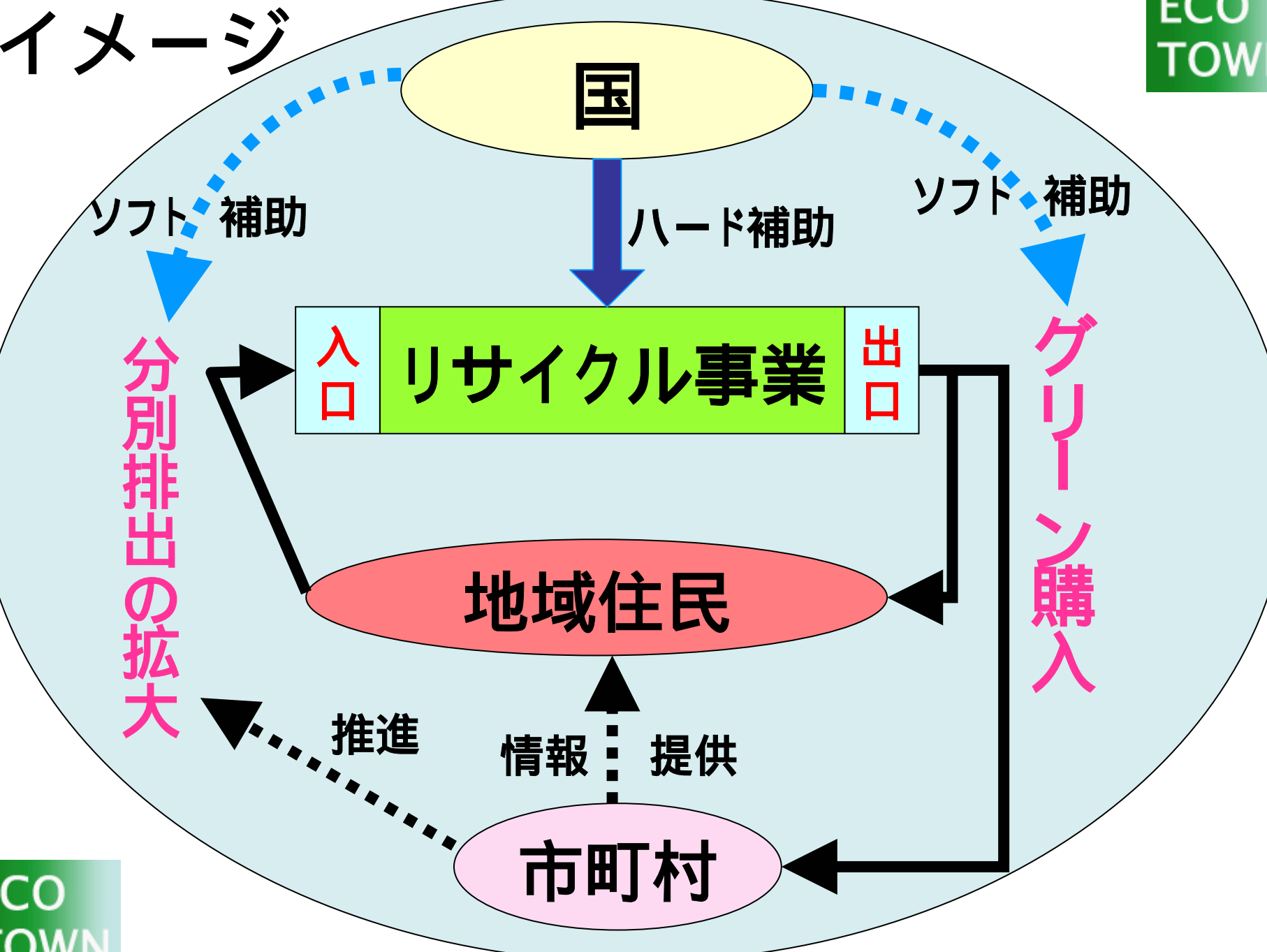
地域住民を巻き込んだ
エコタウンへ。



イメージ

イメージ

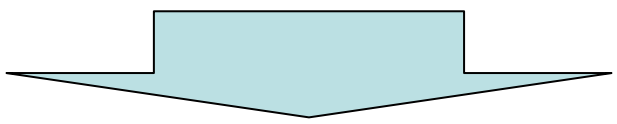
ECO
TOWN



CO
TOWN

環境イベント・環境教育などによって

住民の意識を高める



分別排出の精度UP（入口）

仙台市の取組み



② 市町村がグリーン購入を促進

- ・ 市町村自体がグリーン購入を行う
- ・ 住民に対して情報を提供する

列) せんだいグリーン文具（仙台市）



せんだいグリーン文具

列) 環境配慮事業所登録制度 (岐阜県)

列) エコショップ認定制度 (水俣市など)



ありがとうございました。

山口研究会web

<http://seminar.econ.keio.ac.jp/yamaguchi/>